[illegible]

[illegible]間ハ危害ヲ防止スルモノニシテ弾丸装填直前信管ヨリ脱スルモノトス

弾丸発射セラルヤ加量筒ハ慣性ニ依リばねヲ伴ヒばね支耳ノ抗力ニ打勝チテ降下ス弾丸筒口ヲ出テ弾丸加量筒ノ切欠部ニ鈎シ共ニ上昇シ遠心子ノ拘束ヲ解ク

遠心子ハ弾丸旋速ニ依リ側方ニ解放セラレ雷針ハ単ニばねノミニ依リ支持セラル弾丸着達スルヤ雷針ハばねヲ圧縮

[illegible]筒尾ハ雷管及起爆薬ヲ有シ其ノ起爆力ニ依リ炸薬ヲ爆発セシム

第二 取扱上ノ注意

一 安全栓ハ本信管ノ安全ヲ保持スル為極メテ重要ナル部ナルヲ以テ安全栓ノ抜取リハ必ラズ装填直前ニ実施スルモノトス

二 抜リタル安全栓ハ再ビ信管ニ装スルコトナク一度安全栓ヲ抜シタル信管ヲ有スル弾薬ハ之ヲ撃拂フカ又ハ其ノ信管ヲ不良品トシテ処置スベシ

三 所要ニ應ジ弾薬ノ検査ト共ニ信管ノ点検ヲ実施シ

[illegible]本信管ノ部隊

[illegible]簡單ニ點檢方法次ノ如シ

[illegible]全栓確實ニ信管ニ裝シアルヤ否ヤノ外觀檢査

[illegible]檢査

[illegible]支耳内ニ位置スルヤ否ヤヲ點檢スル為外部

[illegible]頭ヲ靜カニ輕ク押下ケ其ノ圧下量僅少

[illegible]内)ナル時ハ良好ナルモ圧下量大ナルモノハ不

良品ニシテ危檢ナリ、本檢査ハ危檢ノ惧アルヲ以テ

[illegible]彈筒手ニ彈藥交付前又ハ狀況ヲ設ケサル演

[illegible]指揮主トシテ幹部自ラ之ヲ行フモノ

[illegible]ナル操作ヲ避クルヲ要ス

理由

八九式重擲彈筒ハ射角ヲ一定ニシテ藥室容積

変更スルコトニ依リ射程ヲ変換スルモノナルヲ以テ近

距離ヲ射擊スルトキハ初速ヲ小ニシ從ツテ腔圧モ又

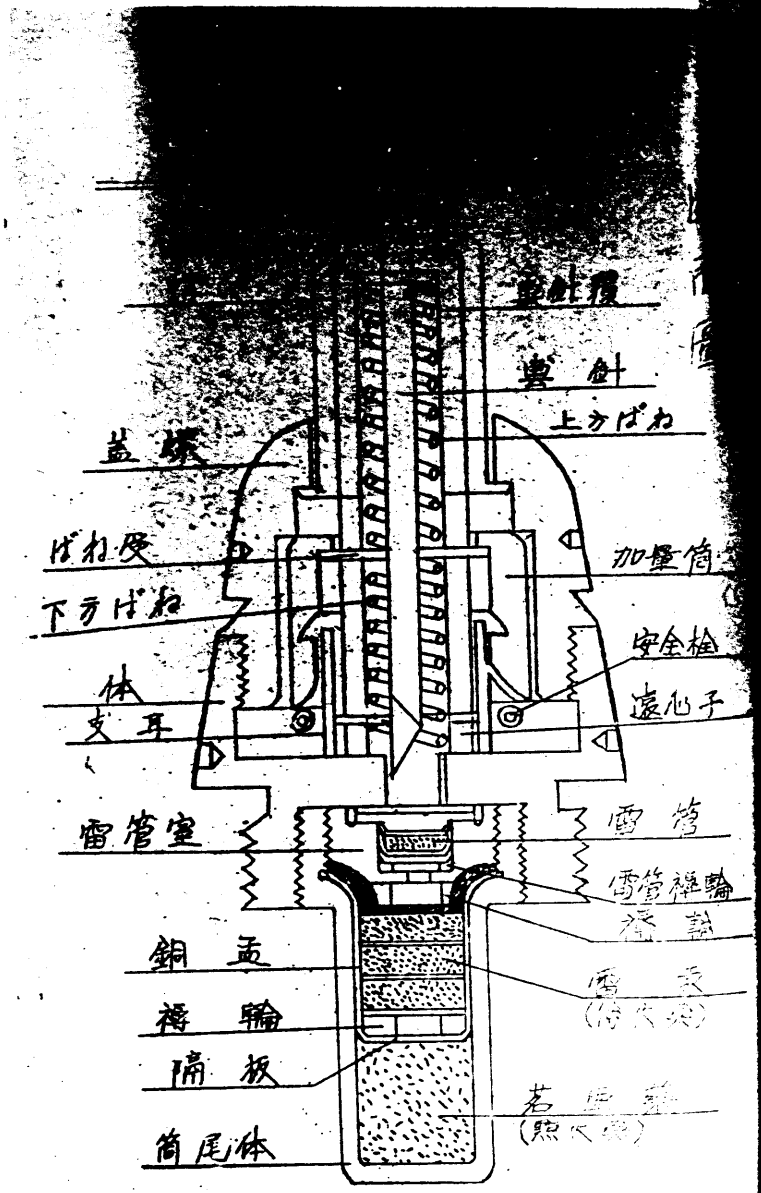
[illegible]ヒサルベカラズ即チ一、二〇米ノ射距離ヲ射擊スル

際ノ初速約三十七米ノ秒ニシテ最大腔圧ハ約七〇

瓩ノ平方糎ナリ斯クノ如キ小腔圧ノ下ニ本信管ノ

機能ヲ完全ニ發揮セシムル為ニハ支耳ノ抗力ヲ弱ク

セザルベカラザルヲ以テ其ノ抗力ハ四瓩乃至五瓩ト規



抑力ハ発射ニ方リ弾丸ヲ装塡スル際ニハ十
所ニルモノナルモ激動ヲ與フルトキハ加量筒ハ支耳ヲ
圧シテ降下スルニ至ルコトアリ若シ加量筒ガ支耳ヲ庇シ
下スルトキハ遠心子ハ支耳ヨリ離脱スルヲ以テ安全性
ヲ欠クニ至リ之ヲ発射スレバ腔発ヲ生起シ又撃針
ヲ動スルトキハ発火スルニ至ル
危険ヲ安全ニ保持スルハ偏ニ安全栓ノ作用ニアリ
故ニ本信管ノ安全ヲ確保スル為ニハ安全栓ニ對シ取

L33014-06

A

雜誌名 参考書綴

受入年月日 ・・・

一部・二部

著者名

発行所

閲覧者 氏名

貸出 年月日

返却 年月日

沖縄 沖台 L-376

著者名 昭和16年度 会 類

書名 参考書綴

月 日記

所属 帯出者氏名

貸出 返却

貸出中

帯出者及印名

昭16年度